

「誰か×誰か」「誰か×何か」の組み合わせが面白い。

絵本 × 自伝

『ねないこはわたし』
せなけいこ／著 文芸春秋

獨特な貼り絵と、衝撃の展開が印象的な名作絵本「ねないこだれだ」。その作者であるせなけいこさん制作の背景や、自身の生い立ち、子育てについてを綴った自伝的絵本がこの『ねないこはわたし』です。彼女の絵本に登場する「おばけ」はどのようにして生まれたのか。絵本作家になつたきっかけ、貼り絵の楽しき、子供たちへの思い、今まで知らなかつた絵本の裏側を知ることができます。(竹原)



みんなで考えよう、環境のこと。



中央本町地域学習センターの近くにある、あだち再生館をご存知ですか？ 今月号から、あだち再生館の図書コーナーを、足立の環境を考える「ドラゴン」「ミリー」「ドリー」「リリー」と共にご案内します。

図書コーナーでは、環境・リサイクルについての本や、月刊誌、新聞などをご覧いただけます。また、貸出も行っています。期間は2週間、おひとり3冊までです。初めてご利用される方は、ご住所を確認できるものをお持ちください。「あだち再生館図書貸出カード」を作ります。足立区図書館の個人貸出カードは使えませんので、ご注意ください。

『日経エコロジー』『フリマガイド』

『econom』など、足立区図書館には所蔵がない雑誌もあります。ぜひご利用ください。

館長が紹介する 「印象に残った一文」とは？



『こっそり ごっそり
まちを かえよう。』
三浦丈典／著 彰国社

やよい TOP IX

この本の中には、あなたが住む町をちょうど楽しくするため、ささやかな作戦がたくさん詰まっています。「じぶんのいえにあだ名をつけよう。」「すごく古くからありそうなお祭りをでっちあげよう。」「大冒険できる宝の地図をつくろう。」などなど…。考えてみるだけでも、今まで気にも留めなかつたことが急に輝いて見える、なんてことがあるかもしれません。この本のまえがきにもあります、町の未来を作るのは、自治体でも政治家でもなく、その町に住むふつうの人達なのです。そんな当たり前のことに気付く1冊。(丸山)



「心とまちは結びついている」

『果てしない宇宙の中で
思う未来の「こと』
毛利衛／著 数研出版

今日は宇宙にまつわる本を紹介します。『果てしない宇宙の中で思う未来のこと』は、宇宙飛行士として有名な毛利衛さんにインタビューと作家の瀬名秀明さんの対談は、S.F.小説好きな人には必見です。その他にも今までに毛利さんが影響を受けた本の紹介もあり、本好きな人もぜひ手に取って見てください。

(竹原)

記念日から見つける、とっておきの1冊。



昭和36年、世界初の有人宇宙飛行に成功したことから、4月12日は世界宇宙飛行の日になりました。

星・ソ連のポストーク1号が打ち上げに成功したことから、4月12日は世界宇宙飛行の日になりました。

図書館職員がやってみました！

「こんなにちは。手芸担当の丸山です。暖かくなり、お花見に出かける方も多いのではないでしょうか。しかし今回は花より団子！ ということでお菓子作りに挑戦です。」

とはいって、図書館で本物の和菓子を展示するのはちょっと難しいので、フェルトでそれっぽく作りました。本にも書かれていますが、和菓子は日本季節に合わせて作られ、名前や形に様々な由来があります。その来歴を知るだけでも、和菓子を見るのが楽しくなりそう。ただし、今は作りやすさを重視して、季節感は後回しです。そして、やっぱり氣になるのはそのお味。本を読んで参考のために…と言い訳しつつ自分が少しでもおいしそうに見えたらいいな、と思います。(丸山)

クイズにこたえて、図書館でプレゼントをもらおう。

もんたい：4月1日は、何についてもいい日？

① おもち ② おしり ③ うそ

こたえ：

Vol.13



『和菓子のアン』
坂木司／著 光文社

こんな本もありますよ

『ビジュアル雑学図鑑① 宇宙のはかり方』
懸秀彦／監修 グラフィック社

『永遠の森 博物館惑星』
菅浩江／著 早川書房